

2019, 9, 12 NO. 258

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



区議会第3回定例会 一般質問

商店会の補助金不正問題

区の真相隠しを追及



9月11日、区議会本会議で、①商店会の補助金不正受給での区の責任、②中高年のひきこもりへの支援、③加齢性難聴への支援について質問しました。今週は、補助金不正受給問題を報告します。

区の責任が問われる重大問題

商店会の補助金不正受給問題は、商店会の責任とともに、東京都に協賛金未計上の実績報告を出し続けてきた区の責任が問われる問題です。しかし、区は、4カ月も調査しながら8月の臨時議会では、「調査中」として真相を明らかにしませんでした。私は、こうした区の態度について「反省はないのか」と追及しましたが、区長は、協賛金問題で都の指摘を知ったのは「7月に入ってから」と言い訳するだけでした。

証拠資料を示し区の責任を追及

区は、責任を逃れるために、協賛金を集めていたことを「知らなかった」という答弁を続けました。私は、関係文書を示し、知らないことはありません。

えないと追及しましたが、区は答弁しないという異常な態度でした。

①花がけを5年間、誰もみなかったのか

ハロー西荻では、

駅前に協賛金納入者の名前を掲示（花がけ）しており、区の関係者が誰も見なかったことはありません。追及。

②パンフにも納入者名が紹介

参加者に配布したパンフにも、協賛金納入者が記載されており、区に提出されています。区長にもパンフのコピーを示し追及しました。

③平成25年度は未計上を指導されながら

区は、平成25年度報告で、都から協賛金未計上を指摘され、補助金を返還しており「知らなかった」は通用しないと追及。

区の偽りの答弁を告発

都は、実績報告で協賛金がゼロとなっていることに疑問をもち、区に問い合わせをしていましたが、私の質問に、区は「都からの指摘はなかった」と答弁。しかし都から入手した文書には、職員が「協賛金等なし 区確認済」と記載されています。

私は、再質問でこの文書を区長にも渡し、責任を逃れるための「虚偽ではないか」と告発しましたが、区は答弁できませんでした。

この問題は、今後の委員会でも引き続き追及していきます。



ハロー西荻のパンフレット

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画 — 党区議団アンケート実施

「ツミ・樹林をまもれ」が区民の声

「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり」 アンケート 中間集計（9月10日現在）

【問1】けやき屋敷の樹木の削減について

削減すべきでない 88.17%
病院建設のためにやむを得ない 5.05%

【問2】ツミ（猛禽類）の生息が確認された

保護を優先すべき 91.20%
病院建設を優先すべき 5.87%

【問3】土壌汚染の危険性がある病院跡地への小 学校移転に関して

移転を進める前に土壌汚染の調査を示すべき 46.83%
移転事業のなかで調査し処理をすればよい 4.39%
そもそも杉1小を移転すべきでない 47.07%

【問4】杉1小移転後跡地の高層ビル建設について

高層ビルを建てるべきでない 86.93%
高層ビルに賛成 7.73%

【問5】 高層ビルへの商業施設誘致について

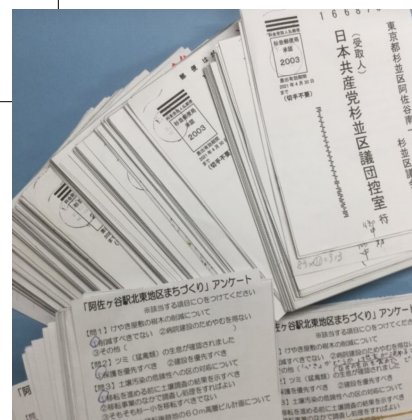
賛成 9.38%
反対 81.87%



けやき屋敷
(航空写真グーグルマップより)

日本共産党杉並区議団は、杉並区が進める阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりについて、区民の意向を調査するためにアンケートを実施。375人（9月10日現在）の方から回答が寄せられました。

アンケート結果は、回答者の8割以上が、けやき屋敷の樹木は「削減すべきでない」、猛禽類ツミは「保護すべき」と回答。土壌汚染が懸念される河北病院用地への杉並第1小の移転についても「移転すべきでない」「商業施設誘致も「反対」の回答が8割



アンケートに寄せられた 自由意見

・阿佐ヶ谷北口に生まれて81歳になりましたが、私が生まれる前から昔からの大切な樹木を人間の都合で切ってはなりません。自然を残してください。

・貴重なけやき屋敷を残してほしい、希少動物の住処をなくしてはいけません。

・医療廃棄物が埋没されているかもしれない危険地帯に学校を移すわけにいかない。

・周辺の商店への影響大。潰れる店もあるかもしれない。…商店をそぞろ歩きするのが良い。

・区民切り捨ての区政に怒り爆発です。

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画の問題点

- ①貴重な保護樹林（けやき屋敷）の大量伐採
- ②土壌汚染の可能性が高い病院跡地への杉並第一小学校移転
- ③杉一小跡地を民間に提供し高層ビル整備をはかる